

山口情報芸術センター [YCAM] 教育普及プログラム

コロガル公園 コモンズ

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオ B

2018年7月21日(土)～10月28日(日) 10:00～18:00

大好評の「コロガル公園シリーズ」の最新版！

継承・発展させるべき、これからの共有地(コモンズ)を「公園」から考える

山口情報芸術センター [YCAM] では、メディアテクノロジーを駆使した子ども向けの遊び場「コロガル公園シリーズ」の最新版として「コロガル公園 コモンズ」を発表します。

「コロガル公園シリーズ」は子どもたちが遊びを通じて考え、創造力を育む環境として、YCAMが制作する公園のシリーズです。2012年の「コロガル公園」を皮切りに、「コロガルパビリオン」(2013年)や「コロガルガーデン」(2016年)といった新バージョンを発表するたびに好評を博し、東京と札幌でも実施してきました。

今回発表する「コロガル公園 コモンズ」は、「コロガル公園」を一部アップデートしつつ、再現したものです。特徴的な形状の床面には、スピーカーや映像などのメディアテクノロジーが随所に埋め込まれており、子どもたちが遊びを発想するための「種」として機能します。

過去の再現というアプローチで挑む「コロガル公園 コモンズ」を通じて、子どもたちに新たな遊びの創造を誘発するとともに、シリーズが地域社会に与えた影響を検証し、文化として継承・発展するための視点を提示します。この機会にご参加ください。



コロガル公園(2012年/山口情報芸術センター [YCAM])

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

現代に生きる子どもたちのための遊び場環境—コロガル公園シリーズ



「コロガルガーデン」(2016年/撮影:山中慎太郎 [Qsyum!])

YCAMは開館以来、オリジナルワークショップなどの教育プログラムを開発しており、それらを通じてコンピューターやネットワークをはじめとするメディアテクノロジーとの適切な向き合い方や、それを応用することで生まれる新たな表現の可能性に触れる機会を提供してきました。

「コロガル公園シリーズ」は、短時間で終わってしまうワークショップとは別に、長期間に渡って維持される公園のような場を通じて新しい学びの可能性を探るプロジェクトです。2012年の「コロガル公園」を皮切りに、これまでに「コロガルパビリオン」(2013年)や「コロガルガーデン」(2016年)を発表しているほか、山口を飛び出し東京と札幌でも実施しています。

本シリーズはいずれも、改変可能なメディアテクノロジーが埋め込まれた環境を、試行錯誤を繰り返しながら思考できる場として提案しており、利用者の子どもたちが遊びを通じて自律的な学びを獲得できるように設計がなされています。こうした学びのプロセスは、変化の激しい現代社会におけるコミュニティの創造/運営のトレーニングとしての側面もあり、そのためここでは利用者が自ら公園の保守管理に携わるなど、遊びだけに留まらない営みが多数生まれています。

こうした「模擬的な社会」とも言えるコンセプトと、その支持体としての構造物のデザインが高い評価を受け、コロガル公園シリーズはこれまでにグッドデザイン賞やキッズデザイン賞を受賞しました。

これまでのコロガル公園シリーズ

コロガル公園

展覧会「glitchGROUND—メディアアートセンターから提案する学び場環境」の展示物として発表。

会期: 2012年5月19日～8月12日

会場: スタジオB

コロガルパビリオン

YCAMを飛び出し、屋外で展開。会期末には存続運動が勃発し、2014年に再開した。

会期: 2013年7月26日～12月1日 / 2014年8月1日～31日

会場: 山口市中央公園

設計: assistant

コロガル公園 in ネイチャー

札幌国際芸術祭の一環で、初の山口県外での開催。

会期: 2014年7月19日～9月28日

会場: 札幌市資料館裏庭

設計: 五十嵐淳建築設計

コロガルガーデン for LIL KIDS

東京での初の開催は、初の未就学児童対応。

会期: 2015年4月29日～5月3日

会場: 伊勢丹新宿本店本館6階催物場

設計: assistant

コロガルガーデン

2年ぶりのYCAMでの開催は、ホワイエとスタジオBでの同時開催。

会期: 2016年6月18日～9月4日

会場: ホワイエ、スタジオB

設計: assistant

「みんなのもの」は誰のもの？—コロガル公園コモンズ



会期中に開催されるイベント「子どもあそびばミーティング」の様子
(2016年／撮影：山中慎太郎 [Qsyum!])

今回発表する「コロガル公園コモンズ」は、2年ぶりとなる「コロガル公園シリーズ」の最新版です。

2012年の「コロガル公園」を一部アップデートしつつ、同じ会場に再現しており、特徴的な形状の床面には、子どもたちが遊びを発想するための〈種〉として、スピーカーや映像、照明などのメディアテクノロジーが随所に埋め込まれています。

また、シリーズを通して開催してきた人気イベント「子どもあそびばミーティング」も開催。子どもたちとYCAMスタッフとともにコロガル公園コモンズに追加したい機能を議論し、採用されたアイデアは、後日新しい機能として会場に追加されます。

共有地＝コモンズとしてのコロガル公園

コロガル公園コモンズは、従来のコロガル公園シリーズに共通する機能や特徴を受け継ぎつつも、新たな方向性として「共有地（コモンズ）」としての可能性を探求していきます。

これまでも、利用者の子どもたちが公園の存続に向けた署名活動を始めたり、YCAMの運営スタッフを補助するなど、能動的な関わりを持つ姿が数多く見受けられました。今回はこうした流れに着目し、コロガル公園シリーズが持つ社会の共有財産としての側面に焦点を当てていきます。持続可能なかたちで利用・管理・維持するためのルールを利用者自らが生み出せるような環境の整備を進めるとともに、ここで培われたさまざまなノウハウを社会に向けて発信していきます。

コモンズ

草原、森林、牧草地、漁場などの資源の共同利用地など、多くの人が利用できる共有資源や制度のこと。自然環境や自然資源そのものを指すというよりも、それぞれの環境資源がおかれた諸条件の下で、持続可能な様式で利用・管理・維持するためのルール、制度や組織であると把握されている。近年ではインターネット上における権利の扱いなどでも盛んに議論されている概念のひとつ。

開催概要

コロガル公園コモンズ

2018年7月21日(土)～10月28日(日) ※火曜休館

10:00～18:00

入場無料

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB

関連イベント「子どもあそびばミーティング」に伴うアップデート作業のため、8月6日～8日、9月10日～14日は閉場します。

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

関連イベント

子どもあそびばミーティング

利用者の子どもたちとYCAMのスタッフが、コロガル公園コモンズをより良くするためのアイデアについてディスカッションするイベントです。優れたアイデアはコロガル公園コモンズに実装されます。

2018年8月5日(日)、9月9日(日) 14:00～15:30

参加無料(要申込/ウェブサイトからお申し込みください)

会場：スタジオB

同時期開催イベント

エキソニモ+YCAM共同企画展

メディアアートの輪廻転生

ニューヨークを拠点に活躍するアートユニット・エキソニモを共同キュレーターに迎えて開催する展覧会です。

メディアアート作品の新しいエコシステムの提示をテーマに、壊れたメディアアート作品に対して様々なアプローチで解体・転生を試みる展示「メディアアートの墓」を軸に、文化をいかに未来に継承し、次なる創造へと発展させていくのか、そのプロセスを思考する機会の創出を目指します。

2018年7月21日(土)～10月28日(日) 10:00～18:00

会場：ホワイエ

真夏の夜の星空上映会

隣接する中央公園で開催する毎年恒例の野外上映イベントです。涼しい夜空の下で、お友だちやご家族と映画をお楽しみいただけます。今年も幅広いみなさまに楽しんで頂ける作品の上映をおこなうほか、YCAMで生まれた映画の上映も予定しています。

2018年8月10日(金)～12日(日) 各日 19:30頃

会場：山口市中央公園